



改訂保育所保育指針にともなって 現場の中でより求められるもの

島根県立大学人間文化学部保育教育学科 准教授 小山 優子

平成29年に新しい保育所保育指針が告示化され、平成30年4月1日から新指針に基づいて保育を行うことになりましたが、以下に改訂の要点を述べたいと思います。

1. 小学校教育へつながる乳幼児期に育てるべき力

今回の改訂では保育所保育指針と幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の3つが同時に改訂されましたが、同時期に小・中学校、高校の学習指導要領も改訂され、児童生徒に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの力を育成することを目標としました。その学校教育の前段階としての幼児教育を担う幼稚園・保育所・認定こども園は、小学校以上で育成すべき資質・能力につながるように「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の3つの力を育てていくこと、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を挙げ、ア健康な心と体(健康)、イ自立心、ウ協同性、エ道徳性・規範意識の芽生え(すべて人間関係)、オ社会生活との関わり(人間関係・環境)、カ思考力の芽生え、キ自然との関わり・生命尊重、ク数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚(すべて環境)、ケ言葉による伝え合い(言葉)、コ豊かな感性と表現(表現)の育成を目指すこととされました。この10の姿は相互に関連し合いながら、遊びや生活を通して子どもが身につける幼児期なりの知識や技能、思考力や表現力、人間性の育ちなどの5領域の内容を含んでいます。ですので、卒園までに10の力を意

識しながら子どもの発達に合わせて5領域の育ちを各学年段階で確認しながら積み上げていく必要があります。そのために、入園から卒園までの各園の保育の全体的な計画(旧・保育課程のことで、幼稚園の教育課程に該当する全体計画)を編成し、子どもの育つ姿を踏まえた年間計画・期間計画・月案・週案などの指導計画に落とし込んでいき、日々の保育日誌や子どもの経過記録・個人記録などから子どもの育ちの評価を行うカリキュラム・マネジメントの実施が保・幼・こども園ともに求められています。

2. 保育所保育特有の配慮点

新指針では、乳児保育については今までの5領域での捉え方をやめ、「健やかに伸び伸びと育つ(健康)」「身近な人と気持ちが通じ合う(人間関係・言葉)」「身近なものに関わり感性が育つ(環境・表現)」の3つでねらいや内容を捉えるよう変更され、1歳以上の保育は、1～3歳未満の子どもの発達に合わせた5領域のねらいや内容が示されたことから、より子どもの育ちやねらいを意識した保育を行うことが必要となりました。また、第1章2「養護に関する基本的事項」での養護と教育が一体化した保育所保育の特色、第4章「子育て支援」の継続的实施に加え、第3章「健康及び安全」で子どもの安全管理や災害への備えについてのより一層の対応と、第5章「職員の資質向上」で施設長の責務での職員の研修機会の確保と職員のキャリアパスを見据えた体系的な研修計画の実施が求められています。

主任保育士・主幹保育教諭研修会を終えて

平成30年6月22日(金)、出雲市 パルメイト出雲にて開催しました。

「組織で学び合う“チーム保育”の構想 パート2」

概要



昨年に引き続き、「組織で学びあう“チーム保育”の構想パート2」というテーマで、今井和子先生をお招きして主任保育士・主幹保育教諭専門研修会が行われました。今回は、保育所保育指針・幼保連携型こども園教育・保育要領の改訂が行われたこともあって、その内容について多く触れられました。「育ってほしい10の姿」についても、子どもを肯定的にとらえ、その子ならではの花を咲かせること、その子の本当の願いは何なのかを知ることが、何より大切ではと言われたことが印象的でした。前回同様、保育の実際の場面をDVDで見て、それについて各グループで討論する時間も設けられました。

☆DVDの内容☆

ベテランの保育士と2年目の保育士とのペアで担任している4歳児クラスの様子。ベテランは持ち上がりで、子どもたちとの信頼関係ができていて、新人さんは何となくまだ子どもたちの中に入りにくい状況。この日の保育は、ベテランが主で進めていた。始めに円陣になって集まり今日のめあてを子どもたちに話す。その円陣に新人は入らず、傍で見ています。新人とベテランチームに分かれてゲームが始まり、新人チームにトラブル発生。新人は何となく子どもたちに声をかけるが、一向におさまらない。ベテランがやって来て、一言かけるとさっと解決してまたゲームに戻った…。



この場面を見て、新人・ベテラン各々の気持ち、行動を話し合いました。各々の立場、視点で物の見方が大きく違って見えることや、だからこそ、想像力を働かせて考えていくことの大切さが理解できた貴重な時間となりました。保育の仕事はチームですることが多く、思いを伝えあい、問いかけあったり、意思疎通をしあって、保育者同士が各々尊重し、居心地の良い職場を作っていくことが子どもたちにかえってくる…そういった園の文化を指導していく



ことが大切だと強調されました。そのためには、「子どもをつかむ」「子どもを理解する」ことが重要で、その際に年齢を物差しにして子どもを評価しないことと、日々の子どもの行動や言葉を否定的にとらえず、その背景には必ず理由があるということ伝えていくのが主任の仕事だと話されました。

一番印象に残ったこと・名言(アンケート結果から)

【子どもたちにとって】

- ・子どもたちは、たくさん遊びの中で失敗も体験し、共感されることで『自己肯定感』を育む。
- ・子どもは遊びを通して学ぶ(遊びこそ豊かな学び)。自発的に遊びを展開できるような環境の工夫が大切。
- ・子どもたちにとって、園の職員の関係性は『人生で一番最初の社会のモデル』

【主任保育士・主幹保育教諭として】

- ・職員一人ひとりの援助者になる。

☆Point… 言葉をかける = 心をかける
一人ひとりの名簿を作成し、全員を理解しよう。
自分から積極的に声をかけ、雰囲気作りを大切にしよう。
時には施設長の悩みも理解し、『縁の下の力持ち』になろう。

- ・あいさつ + 一言(職員全員がいい気持ちになれるように)
- ・学ぶことは変わることに。
- ・つらい時にこそ明るくなれる人こそリーダーだ。

主任として現場の生の声を聞かせて下さい



主任保育士・主幹保育教諭専門研修会終了後、8名の先生方に座談会に参加していただきました。その際のまとめを下記に報告します。

【主任保育士・主幹保育教諭専門研修会に参加してどうでしたか?】

- ・DVDを観て、どこにでもありがちな光景だと思った。自分の保育を振り返って感じるのだが、持ち上がりで子どもたちとの関係が出来ているところに入っていくことは難しい。
- ・中堅の先生は経験も重ねてきて自信も出てくる時なので、主任としての言葉がけが難しい。(言える立場ではないと思ってしまう。)
- ・若い先生の気持ちになってみると、ペアを組む先生が出来る先生だと萎縮してしまう。評価されているのではないかと思う。(一同、わかる~とうなずく)
- 主任としてどう関わるかが難しい。(指示を出した方がいいと思うが、若い先生の気持ちもわかる)

【主任としてのつらさや悩んでいることはありますか?】

- ・自分が若い時は背中を見て学んだ、今はそんな時代ではないと言われた。
- ・新人の先生は中堅の先生と一緒に組むことが多いが、中堅の先生に新人の先生の指導を任せるのは負担が大きいと感じる。
- ・全職員の心のケアに細やかに気を配ること、気持ちを向けることは大事だと感じるが…主任のストレスはどこへ?
- ・同じ立場の人がいないので、孤独を感じることもある。
- ・主任の仕事は各園様々。そんな中、雑務が多く大事にしていきたい主任の仕事が後回しになる。

【何か頑張っていること、心がけていきたいことは?】

- ・主任の仕事は縁の下の力持ち、気づかれない当たり前の業務が多い。しかし、できていないと困る大事な仕事なのでその気持ちでやっていきたい。
- ・コミュニケーションを増やす。苦手だけど立場を自覚して関わるよう声かけは努力している。挨拶だけではなく一言さえる。それは、“あなたのことが大事よ”という気持ちを伝える。又、職員一人ひとりのことを把握する。
- ・一保育者なので保育をしながら他クラスのことに気にかけている。
- ・指導案には返事を毎週書こう・・・と4月から取り組んでいてこれからも続けていきたい。
- ・職員と園長の関係を円滑につなぐことができるように心がけている。
- ・指導する際には、まず良いところをほめてから提案するような言葉かけをしたほうが相手は聞き入れやすいと思うので、そのように指導していきたい。
- ・自己開示がとても大事だと思う。
- ・各園で従事している仕事内容は違うが、同僚性(仲間)という気持ちを心がけていきたいと思う。
※同僚性・・・専門職として「保育士になりたい」という思いで職に就いた仲間と同じ尊敬の心をもって。保育者同士が互いに高めあっていく共同的な関係。

【ストレス解消法は?】

- ・園長先生から思いを言ってもらえるけれど“言えない部分もあります”と言うとショックを受けていました(笑)
- ・副主任の自覚が出てきて大変さをわかってくれる、“それでは・・・これを”と頼むことも出来た。(仕事の分担が出来ようになってきた。)
- ・寝る時は寝る!身体が元気がないと仕事が出来ないので温泉・マッサージ・鍼でリフレッシュしたり、美味しいものを食べる。

皆様 ご協力ありがとうございました。
無理の蓄積をしないよう身体に気をつけてこれからも頑張りましょう。

HOT

みんなの声を聞いて! 聞いて!

ホッと



☆乳児室にて
「赤ちゃんたち、見とってよ〜!」

おもしろ
つぶやき

4歳児
ディズニーランドへの旅行から帰って来た男の子が、嬉しそうに話してくれた。
「いつかスモールライトに乗ったんよ!」
(イツ・ア・スモールワールドにドラえもん登場!? (笑))



☆橋の下には、気味の悪い大きなトロールが。。。。

保育士の
つぶやき

夕食時、味噌汁を食べていて、急に箸がロックされた感覚…
ふと見てみると箸の先にネギの輪がハマってた!!
仕事柄、食事中も時間との戦いが身についてしまっているのか、家に帰っても、かき込むように食べている事に気付いた瞬間だった。



子どもの
つぶやき

3歳児
こいのぼりが泳いでいるところ支柱に絡まってしまった。
絡まったこいのぼりを見て
「風さんが『ごめんねって』ってなおしてくれるかな?」

子どもの
つぶやき

2歳児
保育者「…ちゃん に2枚おむつ持ってきてくれるかな?」
子ども「はい」
部屋に帰って、おむつを取ってきて一言!
子ども「先生! ふたつ持ってきたよ」
二枚をふたつに変換できる事に保育士はビックリ! 感動!!

連絡ノートより

4歳児
隣に住んでいる仲良しのお兄さんが、仕事で散水車に乗って水を散布している姿を見て
「おにいちゃん、みずあそびしてて いいね〜」



保育士の
つぶやき

4歳児
子ども「せんせい、いそぎんちゃくがない」
保育者「?…もしかしてマスク入れる袋のこと?」
子ども「うん!」
きんちゃく袋のことでした。



☆私、おいしい“ダシ”がでるかしら?



☆僕たち、五銃士! 姫を守るぞ!

連絡ノートより

5歳児
家のゲームが壊れたので デオデオに持って行った時の会話
父「これが壊れたので直して頂きたいんですが!」
店員「これはこちらで購入された物ですか?」
父「はい!」
その会話を聞いていた
子ども「えっ!! それサンタさんがくれたんだよ!!」
店員さんと父は顔面蒼白(>_<) そしてサンタさんからの大切なプレゼントなので直してあげるね!と夢をつなぎとめたそうです(^^)



「だんごむちみつけたー」
「そーっと、そーっと、やさしくよ」

連絡ノートより

4歳児
カメが死んでしまったことを聞いて、ブランコに揺られながら
「今夜お悔やみ放送聞いとくわ…」と一言。